



音楽朗読劇

「借りた風景」

～明子さんの被爆ピアノ、その記憶とともに～

第二次世界大戦で生き残った実在する3つの楽器
今を生きる架空の音楽家の視点で、それらの楽器が歩んできた歴史とその記憶が語られる
楽器は、モノは、持ち主の手を、かつてあった場所を記憶しているのだろうか…

被爆80周年の広島で、戦争と平和、避難と追放の歴史に思いを馳せる

Message 「明子さんのピアノ」から

お話：二口とみゑ (HOPEプロジェクト代表)

音楽朗読劇「借りた風景」 脚本：タウフゴルト 作曲：藤倉大 (日本語上演)

Narratorio "Borrowed Landscape" Script: tauchgold Music: Dai Fujikura (Performed in Japanese)

ヴァイオリン：北田 千尋 (広島交響楽団コンサートマスター)

コントラバス：エディクソン・ルイス (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)

ピアノ：小菅 優

朗読：大山 大輔、多和田 さち子、西名 みずほ、日高 徹郎

*「明子さんの被爆ピアノ」によって演奏される場面が一部分あります。

2025年 2月16日(日) 15:00開演 (14:30開場) | 広島女学院中学高等学校
ゲーンズホール

全席自由席 3,500円 | カジモト・イープラス www.kajimotoeplus.com 050-3185-6728 (オペレーター対応 10:00~18:00)
e+(イープラス) https://eplus.jp/

主催：一般社団法人 HOPEプロジェクト 制作：KAJIMOTO
協力：広島交響楽協会、広島女学院中学高等学校、広島テレビ 助成：(公財)ヒロシマ平和創造基金『ヒロシマピースグラント』
後援：広島県、広島市、広島県教育委員会、広島市教育委員会、広島女学院同窓会、朝日新聞広島総局、中国新聞社